



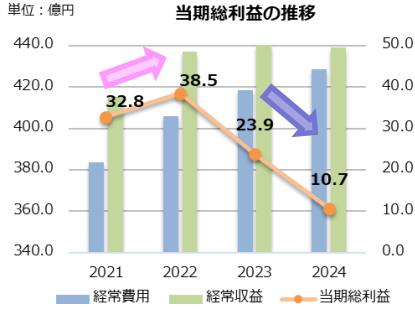
令和7年度大学病院機能強化推進事業（経営環境の改善に資する教育研究基盤の充実） NEXT FRONTIER 2029 – 経営安定化と教育研究の両立を実現する広島発大学病院モデル構築 –

事業概要

広島大学病院改革プラン及び広島県との「高度医療・人材育成拠点の整備に関する協定」に基づき、**病院長主導のマネジメント体制の下、機能分化と高度医療の提供、臨床研究支援体制強化と医療DXの推進、地域連携の強化**を一体的に実施する。これにより、**経営の安定化と病院資源の教育研究へのシフト**を同時に実現し、**持続可能な大学病院モデルの構築**を目指す。

大学病院全体の改革ビジョン

広島大学病院は、**法人化以降早い時期から他大学病院に先駆けて、より柔軟かつ機動的な対応を可能にする共通病床運用(2006年度開始)やDPCⅡ期最終日を目安とした退院推奨(2009年度開始)、診療科ごとの改善を促す診療科別原価計算(2011年度開始)やDPC分析(2018年度開始)などの取組み、新診療棟開院時(2013年度)の積極投資による診療規模拡大等、経営安定化を先行的に進め、国立大学病院でも上位の利益を確保**しており、全国の大学病院からの視察がある状況である。一方、近年は物価や人件費高騰により**2022年度以降毎年10億円以上利益が減少し、経営状況は厳しさを増している**。全国ワースト2位の無医地区を抱える**広島県内唯一の特定機能病院、大学病院として高度急性期医療の中核的役割を担うとともに、病院長によるマネジメント体制の強化、地域の医療機関との機能分化による高度医療の提供、臨床研究支援や医療DX、広島県・広島市・広島県医師会等地域との連携強化**を一体的に推進し、**経営安定化と教育研究の両立を実現**する。

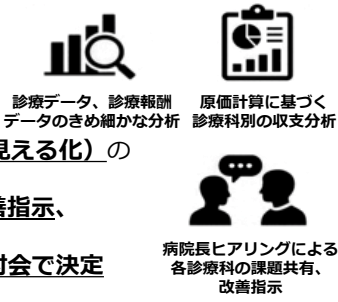


KPI(2029) 臨床系助教研究時間割合：22.3%、臨床試験関連論文数：20報、経常利益率：2.38%維持(10億円相当)

広島大学病院改革プランに基づく改革構想による補助金を活用した取組

病院長によるマネジメント体制の強化

- 良好な病院経営を支えてきた**経営分析・マネジメント力による病院経営の安定化**
- ▶ 診療データ、診療報酬データのきめ細かな分析
- ▶ 原価計算に基づく**診療科別収支分析・DPC分析(見える化)**の四半期ごとの診療科へのフィードバック
- ▶ 病院長ヒアリングによる**各診療科の課題共有、改善指示**、医局で若手医師まで共有し**経営マインド醸成**
- ▶ **100万円以上の支出は全て病院長トップの経営検討会で決定**
診療科別原価計算 100%実施を継続



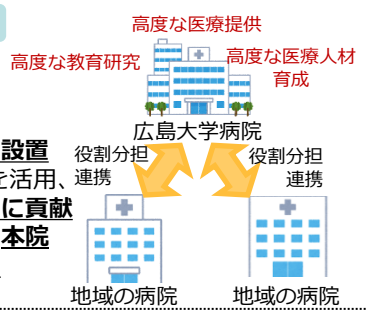
臨床研究支援や医療DXによる病院資源の教育研究へのシフト

- **臨床研究中核病院として、質の高い臨床研究や治験を適正かつ強力に推進するための臨床研究支援体制強化、日本の臨床研究推進政策に貢献**
 - 本学を牽引する特徴ある教育研究分野に「病院選抜助教」を雇用し、**若手人材を育成、教育研究活性化、学術界の発展に寄与**
 - **医療DXの導入**により医療従事者の業務負担を軽減するとともに「自家培養軟骨移植治療」が「変形性膝関節症」に保険適用拡大
- KPI(2029) 特定臨床研究(新規) 21件
医師主導治験(新規) 3件**



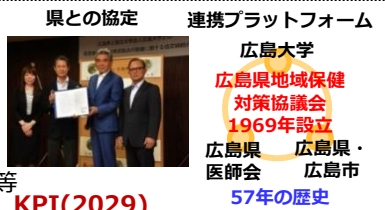
地域の医療機関との機能分化による高度医療提供

- 高度医療提供、教育研究、人材育成の各機能を最大限に発揮、**教育・研究・診療の好循環を形成し、持続可能な高度医療提供体制を確立**
 - ▶ **博士課程の医学物理士養成コースを中四国で唯一設置する本学で最先端医療機器(AI治療計画連携リック)を活用、専門性の高い医療人材を育成し、治療の均てん化に貢献**
 - ▶ **広島がん高精度放射線治療センターと機能分化、本院に高度・複雑症例を集約し県全体の経営効率向上**
- KPI 放射線治療専門医:毎年1名育成**



地域との連携強化

- **広島県と締結した「高度医療・人材育成拠点の整備に関する協定」に基づく強固な連携**
 - **広島県立病院機構との「医薬品・医療機器等の効率的な調達に係る連携協定」**
 - ▶ **医薬品、診療材料、医療機器、検査試薬の調達等**
 - **遠隔ICUシステムによる地域医療への貢献**
 - **広島県、医師会、本学等で構成する医師配置検討委員会と協力した地域医療機関に対する医師派遣**
- KPI(2029) 広島県立病院機構との価格適正化に係る削減額：6,000万円
遠隔ICU被支援機関：4機関**



病院運営の構造転換

経営安定化により 教育研究機能の強化、高度医療の提供、地域医療への貢献

(参考) 地域との連携強化

広島大学と広島県との高度医療・人材育成拠点の整備に関する協定（概要）

協定の目的 ▶ 地域完結型の医療提供体制の構築 ▶ 医療水準の向上

①地域のニーズに即した最高水準の医療を提供

【広島大学】

- ▶ 人材育成
- ▶ 医師派遣・確保
- ▶ 病院運営システムの最適化

⇄ 多面的な協力 ⇄

【広島県（広島県立病院機構）】

- ▶ 新病院※等による最高水準の医療提供

②質の高い医療人材の育成のための環境の整備

【広島大学】

- ▶ 高度な知識・技能を有する医師の養成
- ▶ 地域医療に関するシステム・カリキュラム整備

⇄ 環境整備 ⇄

【広島県（広島県立病院機構）】

- ▶ 多彩で豊富な臨床経験ができる新病院を整備
- ▶ 地域医療を経験できるプログラム整備

③高い水準の医療を提供するための臨床研究の充実

【広島大学】

- ▶ 質の高い治験・臨床研究を推進
 - ✓ 難治性希少疾患の原因究明
 - ✓ 新しい診断・治療法及び新薬の開発

⇄ 連携 ⇄

【広島県（広島県立病院機構）】

- ▶ 新病院による臨床研究、医薬品・医療機器の開発の推進
- ▶ 地域の中核病院での臨床研究活性化に資する取組の支援

④地域のニーズに即した医療提供体制の維持・確保

【広島大学】

- ▶ 広域的な観点による医師派遣を行い、中山間地域における医療提供体制の確保

⇄ 連携 ⇄

【広島県（広島県立病院機構）】

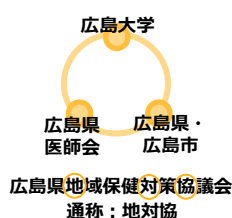
- ▶ 医師配置検討委員会を設置し、県内の医療提供体制の確保に向けた配置調整

地域との連携プラットフォーム…広島県地域保健対策協議会

広島大学、広島県、広島市、広島県医師会の四者で構成される**広島県地域保健対策協議会**は1969(昭和44)年に設立、57年の歴史を有する。保健医療計画等に応じ目的ごとに委員会を設置、保健・医療・福祉に関する事項の調査・研究、協議等を実施。上記四者に加え、**各地域医師会長、各医療職域会長、民生委員児童委員等**の関係者も幅広く理事として参画。

2025年度組織図

**官・学・民一体の
国内でも類を見ない
先駆的な
「オール広島」
の組織**



広島大学
広島県医師会
広島県・広島市
広島県地域保健対策協議会
通称：地对協

理 事 会	
常 任 理 事 会	
01	保健医療基本問題検討委員会
02	医師確保対策専門委員会
03	救急医療特別委員会
04	災害医療体制検討特別委員会
05	発達障害医療支援体制検討特別委員会
06	在宅医療・介護連携推進専門委員会
07	糖尿病対策専門委員会
08	医薬品の適正使用検討特別委員会
09	精神疾患専門委員会
10	がん対策専門委員会
11	予防接種・感染症危機管理対策専門委員会
12	小児医療体制検討専門委員会
13	医療情報活用推進専門委員会
14	認知症対策専門委員会
15	脳卒中医療体制検討特別委員会
16	心血管疾患医療体制検討特別委員会
17	かかりつけ医機能検討特別委員会
18	呼吸器疾患リハビリテーション地域連携推進特別委員会
19	地域医療対策連絡調整委員会
監 事 会	

※新病院への再編・統合

